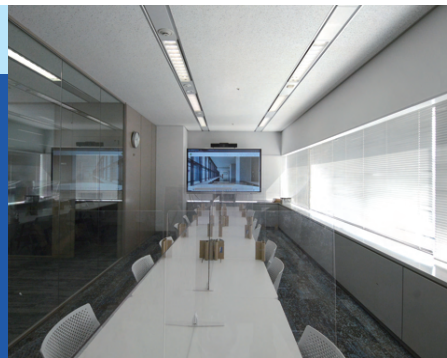


エルモボードお客様活用事例

株式会社 大林組 様

長尺の会議室とアナログ環境の負点を解消、
スマートなWeb会議の実現が、
「働き方改革」のこれからを牽引していく。



これまでの課題

- ・コロナ禍の影響でオンライン会議が増えたにも関わらず、継ぎ足し機材中心の旧態依然としたシステム
- ・会議室が長尺にも関わらず、55インチの旧型ディスプレイで端の人が見づらい
- ・ITリテラシーの個人差が大きく、アナログ優先の人材もいる



エルモボード導入後

- ・会議資料のとりまとめや資料共有がエルモボード上でスピーディーに行え、時間短縮につながった
- ・86インチの大型モニターで、端の人もしっかり視認できる
- ・わかりやすい物理ボタンで誰もがスムーズにプレゼンテーションを行える
- ・ワイヤレス化など発展・拡張に期待できる

会社をリードする企画部らしい、働き方改革を行いたい。
そのファーストステップとして取り組んだのが、会議室の最先端化でした。

⇒ エルモボード導入のきっかけは何でしたか？

いま私が手がけているのは、改正労働基準法に対応した「働き方改革」です。令和6年4月1日の適応まであと残り2年となり、ICT化や建設DXなどの分野に特化した形で取り組んでいるところです。

実は私が現在の企画部に異動してきたのが、今年の4月だったんですね。その時、この部署の会議室には55インチのディスプレイがあったんですが、端の人ではまず見えないだろうと思ったんです。カメラやマイクも市販品を後から継ぎ足した形で、なんとかWeb会議が行えるよう取り繕っていました。会社の先端たる企画部がこれではいけない。そう思った私は、まずゴールを定め、そのために必要なものは何かをヒアリングしていきました。タッチモニター、OS搭載、USBなどのインターフェース、資料共有、86インチの大画面、そうしたニーズを満たし、価格的にもリーズナブルな製品が「エルモボード」だったんです。以前に幕張でテクノホライズンさんにお会いしていたので、さっそく声をかけさせて頂きました。



東京本店 土木事業部 企画部 副部長 横田 慎晶 様

ご協力企業様 プロフィール

- 社 名 株式会社大林組 (OBAYASHI CORPORATION)
- 設 立 1936 (昭和 11) 年 12 月
- 代表取締役社長 運輸 賢治
- 本 社 東京都港区港南 2 丁目 15 番 2 号 TEL 03-5769-1111
- 資 本 金 577.52 億円
- 従業員数 8,918 人 (2021 年 3 月末現在)
- 事業内容 国内外建設工事、地域開発・都市開発・その他建設に関する事業、及びこれらに関するエンジニアリング・マネージメント・コンサルティング業務の受託、不動産事業ほか



**MAKE
BEYOND**
つくるを拓く

※インタビューはマスク着用で実施しています。

操作が不得意な人にも使いやすいアイデアが満載、 大画面ならではの迫力が、プレゼンテーションに熱量を加えてくれる。

⇒ 現在、エルモボードをどう活用されていますか？

私はWeb会議の場では、モニター画面の前に立って話すプレゼンテーションスタイルを推奨しています。会議に参加しているメンバーは、皆がPCを持参して自分のモニターを見ているよね。その状態で発言すると、「誰が話しているのかわからない」ことになりかねません。逆に大きな画面の前で説明する時の説得力は、格段に高いんですよ。もちろんオンラインで参加している人にはモニター前に立つ人の動きは見えませんが、声やアクションに熱が入るので内容がしっかり伝わり、質問なども3倍くらい多く出てくるんです。

エルモボードには右下にハードボタンがあり、右側に立って説明していればこのボタン操作で次に進めたり戻ったりできます。この仕様はアナログ派の人にも使い勝手が良いようで、パワーポイントやPDFを投影している場合は非常に便利です。あと、USBなどのインターフェースが正面に付いているのも利便性が高いです。後ろに回り込む必要が無く、スマートにデータを反映できますから。



ボード上での会議資料作成、さらにはPCからワイヤレス投影へ。 アナログからのスムーズな転換を進めていきたい。

⇒ 今後の課題に対し、エルモボードをどう活用していきたいですか？



以前は会議用に紙の資料をテーブルの上に40枚くらい並べ、何枚目と何枚目をくっつけようとか、何枚目は要らないとか言いながら資料作りを行っていました。しかしエルモボード導入後は、読み込ませた資料にボード上で書き込み修正したり、資料同士を並べ変えたり、さらにはスクリーンショットで保存すれば、すぐに皆で共有できるようになります。会議の準備時間や会議そのものの時間も間違いなく短くなりますし、やはり情報共有がスピーディーに行えるのが大きな利点なので、今後はそうした使い方を浸透させていきたいですね。

また、複数のデバイスをエルモボードに同時につなぐことができるスマートスイッチャー「HS-2」の導入を近々計画しています。パソコンをモニター近くに持ってきてHDMIで都度つなぐのは、会議の進行に水を差します。しかし「HS-2」経由ならばワイヤレスで自席のPCからエルモボードに投影でき、さらにはボード上で書き込みをした資料をオンラインで配信するなど、圧倒的に利便性が高まるでしょう。建設業界はICT化が遅れていると言われていますが、エルモボードの導入で一気に挽回を図りたいですね。



HS-2 (スマートスイッチャー)



テクノホライズン株式会社 エルモカンパニー
〒457-0071 愛知県名古屋南区千歳通二丁目13番地1
<https://www.elmo.co.jp/>

□札幌オフィス	〒060-0908 札幌市東区北8条東3丁目1-1 富村ビル3階	TEL.011-594-8450 FAX.011-594-8451
□仙台オフィス	〒980-0802 仙台市青葉区二丁目13-18 ステーションプラザビル6階	TEL.022-266-3255 FAX.022-266-3253
□盛岡サテライトオフィス	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目1番2号 盛岡第一生命ビルディング8階	TEL.022-266-3255 FAX.022-266-3253
□品川オフィス	〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー17階	TEL.03-3471-4577 FAX.03-3471-4433
□宇都宮サテライトオフィス	〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り四丁目1番18号 宇都宮大同生命ビル8階	TEL.03-3471-4577 FAX.03-3471-4433
□高崎サテライトオフィス	〒370-0841 群馬県高崎市栄町16-11 高崎イースタワー10F	TEL.03-3471-4577 FAX.03-3471-4433
□幕張サテライトオフィス	〒261-8501 千葉県美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンビル東中央館(CD)5階	TEL.03-3471-4577 FAX.03-3471-4433
□長野サテライトオフィス	〒391-0213 長野県茅野市豊平5239番地1	TEL.03-3471-4577 FAX.03-3471-4433
□名古屋オフィス	〒457-0078 名古屋市中区塩屋町1丁目3番地4号	TEL.052-811-5261 FAX.052-811-5142
□京都オフィス	〒604-8101 京都市中京区柳馬場通御池下る柳八幡町65 京都朝日ビル10階	TEL.075-744-1360 FAX.075-744-1361
□金沢サテライトオフィス	〒920-0919 石川県金沢市南町6-1 朝日生命金沢ビル10階	TEL.052-811-5261 FAX.052-811-5142
□大阪オフィス	〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-9-6 肥後橋ユニオンビル10階	TEL.06-6443-6001 FAX.06-6443-6006
□姫路オフィス	〒670-0912 兵庫県姫路市南町63ミツビル1階	TEL.079-257-1636 FAX.050-3457-8704
□広島オフィス	〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1アーバンビューグランドタワー1104	TEL.082-221-2801 FAX.082-221-2802
□松山サテライトオフィス	〒790-0011 愛媛県松山市千舟町五丁目5番地3 EME 松山千舟町ビル8階	TEL.082-221-2801 FAX.082-221-2802
□沖縄サテライトオフィス	〒901-2225 沖縄県宜野湾市大謝名90番地3 Link58 602	TEL.082-221-2801 FAX.082-221-2802
□福岡オフィス	〒812-0039 福岡市博多区冷泉町2番8号 朝日プラザ福岡2階	TEL.092-281-4131 FAX.092-281-4133
□鹿児島オフィス	〒892-0846 鹿児島市加治屋町12番7号 鹿児島加治屋町ビル402号室	TEL.096-282-8338 FAX.096-282-8337
□熊本サテライトオフィス	〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺1丁目11番4号 熊本県教育会館4階	TEL.096-282-8338 FAX.096-282-8337

※記事案書の内容は2021年10月現在のものです。 ※仕様は予告なく変更されることがあります。